eastspring investments

交付運用報告書

イーストスプリング・インド消費関連ファンド

追加型投信／海外／株式

作成対象期間 2026年２月21日～2026年８月20日

第36期 2026年８月20日決算

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主としてインドの金融商品取引所に上場されている消費関連株式を主な投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成対象期間につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜わりますよう、お願い申し上げます。

日経新聞掲載名：消費関連

第36期末（2026年８月20日）	
基準価額	20,656円
純資産総額	218,659百万円
第36期	
騰落率	△ 2.4%
分配金（税込み）合計	0円

（注）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社
〒100-6905
東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング
https://www.eastspring.co.jp/
〔お問い合わせ先〕
電話番号：03-5224-3400
（受付時間は営業日の午前９時から午後５時まで）

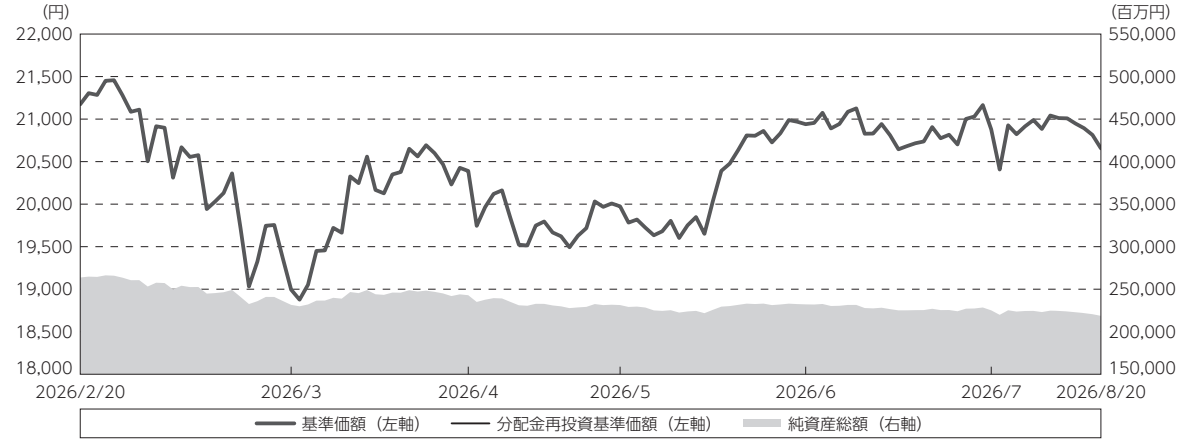
当ファンドは、信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順で閲覧、ダウンロードすることができます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

＜運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法＞
ホームページにアクセス ⇒ 「ファンド情報」を選択 ⇒ ファンド名を選択 ⇒ 「目論見書・月報・運用報告書等」の「運用報告書（全体版）」を選択

運用経過

基準価額等の推移について

(2026年2月21日～2026年8月20日)



期　首：21,174円
期　末：20,656円（既払分配金(税込み)：0円）
騰落率：△ 2.4%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
(注) 分配金再投資基準価額は、期首（2026年2月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
(注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は下落しました。

(下落要因)
・インドルピーが対円で下落したこと。

１万口当たりの費用明細

（2026年2月21日～2026年8月20日）

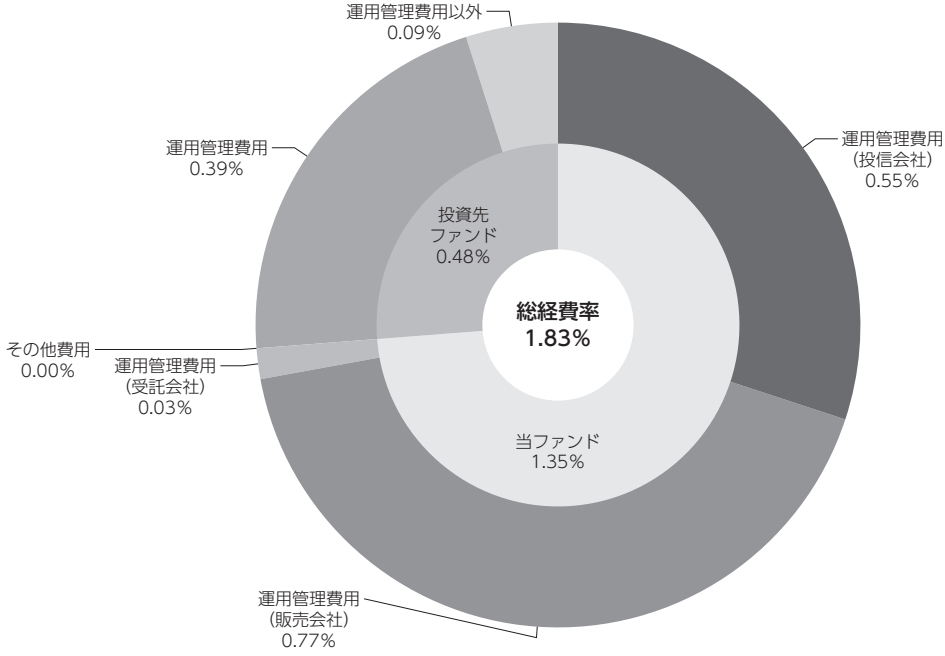
項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	137	0.669	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(56)	(0.273)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(78)	(0.382)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(3)	(0.015)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	0	0.002	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(0)	(0.000)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.001)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷）	(0)	(0.001)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
（その他1）	(0)	(0.000)	信託管理事務に係る手数料
合計	137	0.671	
期中の平均基準価額は、20,439円です。			

（注）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。
（注）各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

（参考情報）

◯総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.83%です。



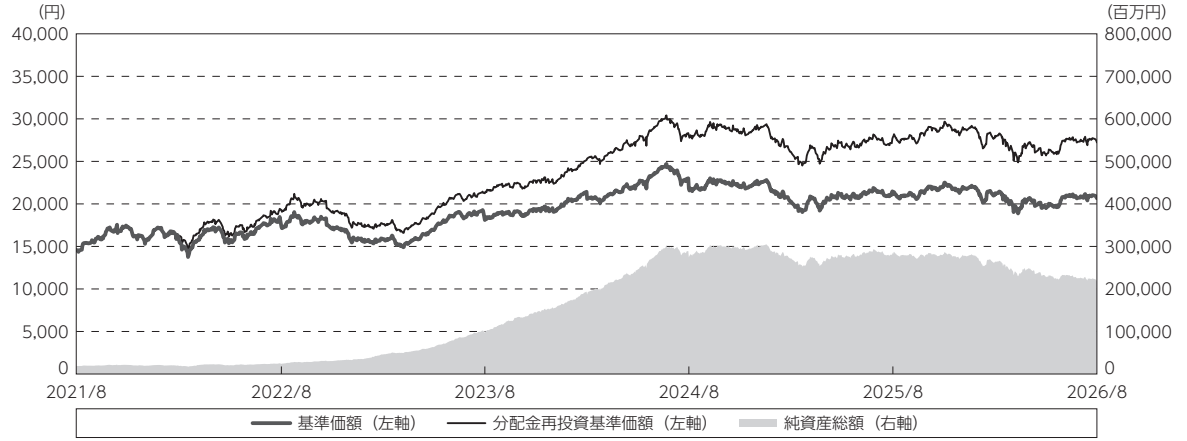
(単位:%)

総経費率(①+②+③)	**1.83**
①当ファンドの費用の比率	1.35
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.39
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.09

(注) ①の費用は１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注) 各比率は、年率換算した値です。
(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券です。
(注) ①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近５年間の基準価額等の推移について

（2021年8月20日～2026年8月20日）



（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）分配金再投資基準価額は、2021年８月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2021年８月20日 決算日	2022年８月22日 決算日	2023年８月21日 決算日	2024年８月20日 決算日	2025年８月20日 決算日	2026年８月20日 決算日
基準価額　(円)	14,609	17,324	18,102	21,777	21,130	20,656
期間分配金合計(税込み)　(円)	－	1,800	1,000	2,000	500	0
分配金再投資基準価額騰落率　(%)	－	31.9	10.3	31.9	△ 0.7	△ 2.2
純資産総額　(百万円)	18,705	23,826	96,723	274,070	280,628	218,659

（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
（注）騰落率は１年前の決算応当日との比較です。
（注）当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

投資環境について

インド株式市場

インド株式市場は、期初から中東情勢の混乱による原油価格急騰を受けて、原油輸入国であるインドでは、インフレ圧力の高まりや貿易収支の悪化に対する懸念が強まり、株価は大きく下落しました。2026年４月には米国とイランの一時停戦合意報道を好感し株価は反発しましたが、インドの経常赤字拡大や国際収支赤字への懸念から、インドルピーの下落や外国投資家による資金流出が続いたことなどがマイナス要因となりました。６月以降はインド準備銀行（RBI、中央銀行）が発表した外国資本の流入拡大を目的とした政策対応や、安定した業績成長が確認された４-６月期決算の内容が好感され上昇しました。また、外国投資家の資金動向は流入超に転換しました。通期では下落となりました。

為替市場

インドルピーは、期初から中東情勢の混乱による原油価格急騰を受けて、原油輸入国であるインドの経常赤字や国際収支の赤字懸念が台頭し、インドルピーは対米ドルで最安値を更新し続けました。2026年６月にRBIが発表した外国資本の流入拡大を目的とした政策対応などが好感され、インドルピーは一時的に買われた局面も見られましたが、通期では対米ドル、対円で下落しました。

国内債券市場

国内債券市場は、高市政権による積極財政を受けた財政赤字拡大懸念や中東情勢の混乱を受けた原油価格高騰、石油由来製品の供給不透明感などを受けたインフレ懸念などから利回りは上昇しました。

ポートフォリオについて

当ファンド

主要な投資対象の一つであるイーストスプリング・インベストメンツ・インディア・コンシュマー・エクイティ・オープン・リミテッド（以下「インディア・コンシュマー・エクイティ」ということがあります。）の組入比率を高位に保つよう運用しました。

インディア・コンシュマー・エクイティ

インドの消費関連企業の株式を主要投資対象とし、長期的な成長を目指した運用を行いました。個別銘柄調査とバリュエーションを重視し、市場全体およびセクター内で割安に評価されている銘柄を中心に投資を行い、割高となった銘柄の組入れを減らしました。当期は、好調な宝飾品需要に加え、海外展開や高価格帯商品投入など2030年度に向けた強気な中期経営計画が好感され上昇したタイタンなどの保有がプラス要因となる一方、中東情勢の混乱を受けた景気減速懸念から貸出資産の質の悪化が懸念されたことに加え、会長辞任の発表を受けて企業統治を巡る不透明感が高まったことなどから下落したHDFC銀行の保有などがマイナス要因となりました。

イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ｉ（適格機関投資家向け）

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス（１－10年債）を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきました。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり、税込み）

項　　目	第36期 2026年２月21日～ 2026年８月20日
当期分配金	－
（対基準価額比率）	－％
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	10,656

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。
（注）－印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

当ファンド

主要な投資対象の一つであるインディア・コンシュマー・エクイティの組入比率を高位に保つことを基本とします。

インディア・コンシュマー・エクイティ

中東情勢の緊迫化による原油や原材料の価格上昇が見られるなかでも、生活必需品や一般消費財セクターの販売は底堅く推移しています。これらの企業は2026年４-６月期に２～４％程度の値上げを実施しました。今後原油価格が下落した場合でも値上げの大部分は維持できるとみており、利益率の改善が期待されます。またRBIが導入した特定の非居住者預金口座に対する金利上限の一時的な撤廃により、大手銀行の預金獲得や貸出成長が後押しされることが期待される銀行セクターに着目しています。さらに安定した成長を達成しているヘルスケアセクターの中でも、大手企業が市場シェアを拡大している点に着目しています。

こうしたなか、引き続きインドでは、豊富な若年層を有する良好な人口動態、所得の増加、耐久消費財の低い普及率、急速な都市化などに支えられ、長期的に消費の拡大や消費分野での高付加価値・高品質化が続くことが期待されます。インド株式市場は、中東情勢や世界経済の先行き、インド国内のインフレ、企業収益および金融・財政政策の動向などに影響を受けると考えます。当該ファンドでは、インド消費に関するテーマとして、小売業の大規模化やｅコマースの進展、旅行などのホスピタリティ消費の拡大、医療支出の増加やグローバル・サプライチェーンへのインド企業の参入などに注目し、このようなテーマから恩恵を受ける企業に投資機会を見出していく方針です。

イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ｉ（適格機関投資家向け）

今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行い、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス（１－10年債）を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。

お知らせ

2026年４月１日付で一般社団法人日本投資顧問業協会と一般社団法人投資信託協会が統合し、「一般社団法人資産運用業協会」となりましたので、投資信託約款に所要の変更を行いました。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限（2008年５月30日設定）
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの金融商品取引所に上場されている消費関連株式に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・コンシュマー・エクイティ・オープン・リミテッド」（米ドル建て）の投資証券および日本の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ｉ（適格機関投資家向け）」の受益証券（振替受益権を含みます。）を主要投資対象とします。
運用方法	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時（毎年２月20日および８月20日、休業日の場合は翌営業日）に、基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。

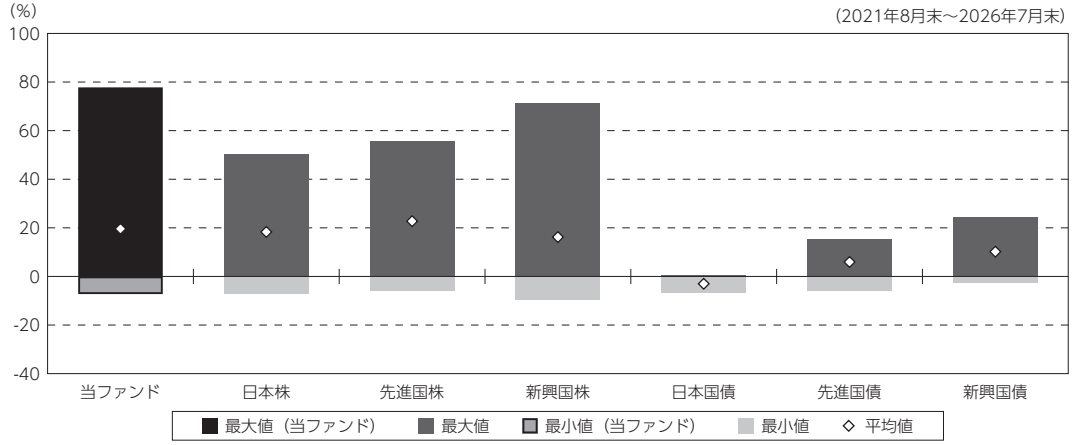
指数に関して

当ファンドの投資対象である「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ｉ（適格機関投資家向け）」のベンチマーク（ICE BofA 国債インデックス（１－10年債））について

ICEの指数データは、ICE Data Indices, LLC、その関係会社（以下「ICE Data」）及び／またはその第三者サプライヤーの財産です。ICE Data及びその第三者サプライヤーは、その使用に関して一切の責任を負いません。

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



（単位：%）

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	77.8	50.5	55.7	71.2	0.6	15.4	24.5
最小値	△ 7.3	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 6.9	△ 6.1	△ 2.7
平均値	19.6	18.3	22.7	16.2	△ 3.0	6.0	10.2

（注）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
（注）2021年８月から2026年７月の５年間の各月末における直近１年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
（注）上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
（注）当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》
日 本 株：配当込みTOPIX
先進国株：MSCI － KOKUSAIインデックス（配当込み、円ベース）
新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
日本国債：NOMURA － BPI国債
先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

ファンドデータ

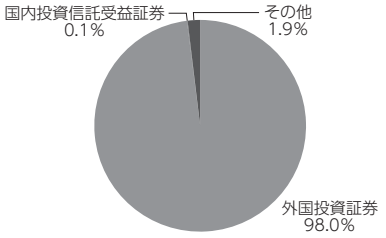
当ファンドの組入資産の内容

○組入上位ファンド

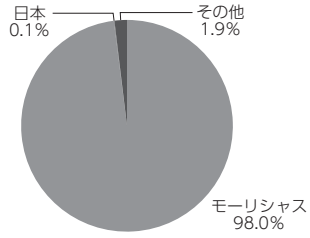
銘柄名	第36期末
	%
イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・コンシュマー・エクイティ・オープン・リミテッド	98.0
イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型Ⅰ(適格機関投資家向け)	0.1
組入銘柄数	2銘柄

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

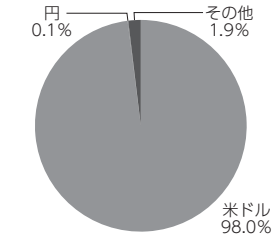
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
(注) 国別配分につきましては発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

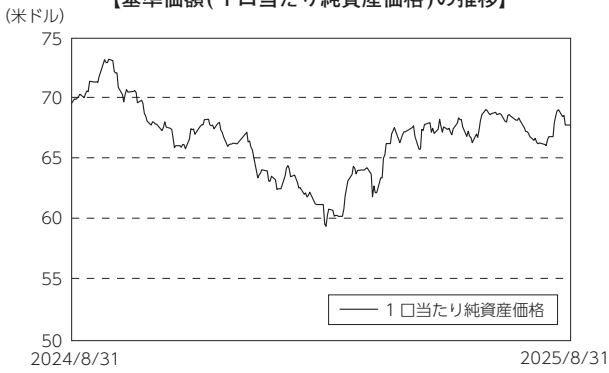
項目	第36期末
	2026年８月20日
純資産総額	218,659,051,055円
受益権総口数	105,856,833,812口
１万口当たり基準価額	20,656円

(注) 当期中における追加設定元本額は3,048,248,136円、同解約元本額は21,760,266,075円です。

組入上位ファンドの概要

イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・コンシュマー・エクイティ・オープン・リミテッド

【基準価額(１口当たり純資産価格)の推移】



【１万口当たりの費用明細】

(2024年9月1日～2025年8月31日)

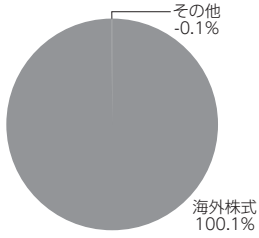
当該期間のFinancial Statements（監査済み）には、１万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

【組入上位10銘柄】

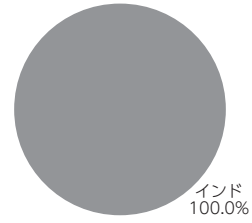
(2025年8月31日現在)

	銘柄名	業種	国・地域	比率
1	ヒンドゥスタン・ユニリーバ	家庭用品・パーソナル用品	インド	6.4%
2	バルティ・エアテル	電気通信サービス	インド	5.9%
3	ICICI銀行	銀行	インド	5.6%
4	サン・ファーマシューティカル・インダストリーズ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	インド	5.2%
5	マヒンドラ・マヒンドラ	自動車・自動車部品	インド	5.0%
6	マルチ・スズキ・インディア	自動車・自動車部品	インド	4.9%
7	HDFC銀行	銀行	インド	4.7%
8	ネスレ・インディア	食品・飲料・タバコ	インド	3.3%
9	アベニュー・スーパーマーツ	生活必需品流通・小売り	インド	3.2%
10	ブリタニア・インダストリーズ	食品・飲料・タバコ	インド	2.5%
組入銘柄数		74銘柄		

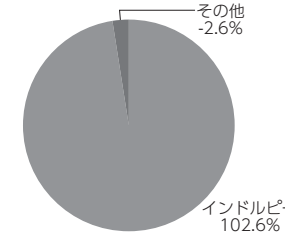
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

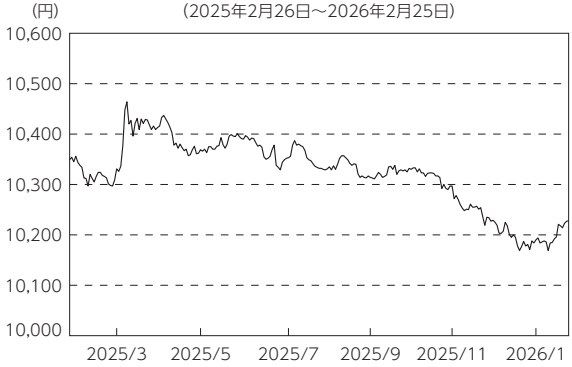


(注) 組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの（監査済みおよび同時点の関連データを含む）を使用しています。
(注) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。
(注) 通貨別配分において、基準日をまたぐ為替取引等の計上により数値がマイナスになることがあります。

＊組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ｉ（適格機関投資家向け）

【基準価額の推移】



【１万口当たりの費用明細】

(2025年２月26日～2026年２月25日)

項目	当期 金額	当期 比率
	円	%
(a) 信託報酬	23	0.220
(投信会社)	(15)	(0.143)
(販売会社)	(2)	(0.022)
(受託会社)	(6)	(0.055)
(b) その他費用	1	0.013
(監査費用)	(1)	(0.013)
合計	24	0.233
期中の平均基準価額は、10,325円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

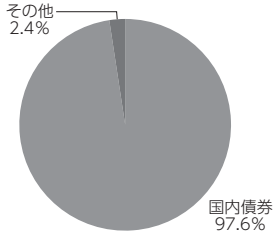
【組入上位10銘柄】

(2026年２月25日現在)

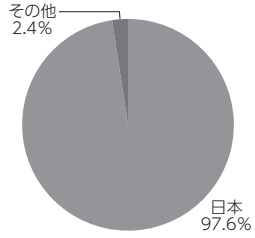
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
					%
1	第359回利付国債(10年)	国債	円	日本	21.8
2	第91回利付国債(20年)	国債	円	日本	18.0
3	第117回利付国債(20年)	国債	円	日本	13.5
4	第14回利付国債(30年)	国債	円	日本	9.1
5	第351回利付国債(10年)	国債	円	日本	7.8
6	第354回利付国債(10年)	国債	円	日本	7.5
7	第87回利付国債(20年)	国債	円	日本	7.3
8	第378回利付国債(10年)	国債	円	日本	6.9
9	第13回利付国債(30年)	国債	円	日本	5.6
10	－	－	－	－	－
組入銘柄数		９銘柄			

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
(注) 国（地域）につきましては発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。

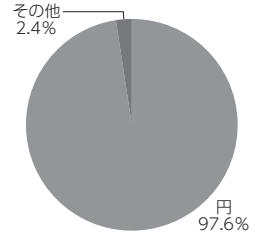
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
(注) 国別配分につきましては発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○配当込みTOPIX

配当込みTOPIXは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、配当込みTOPIXの指数値及び同指数に係る標章又は商標は、株式会社ＪＰＸ総研又は株式会社ＪＰＸ総研の関連会社の知的財産です。

○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。